

経営比較分析表（令和3年度決算）

奈良県南和広域医療企業団 五條病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	3	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	10,366	第2種該当	-	13：1

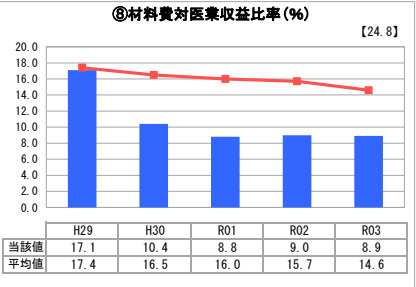
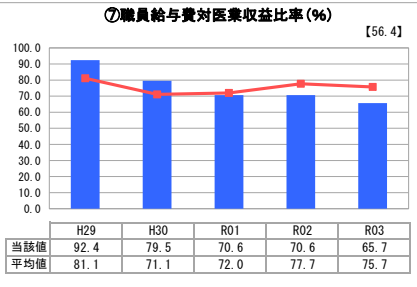
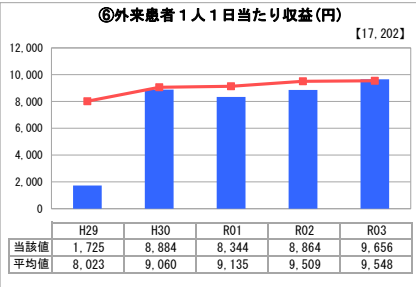
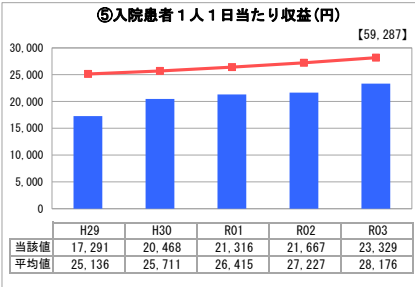
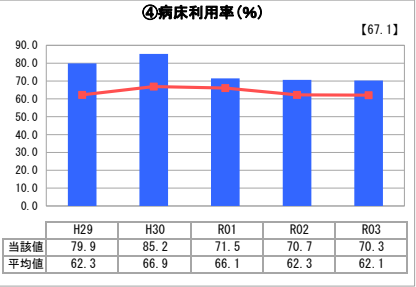
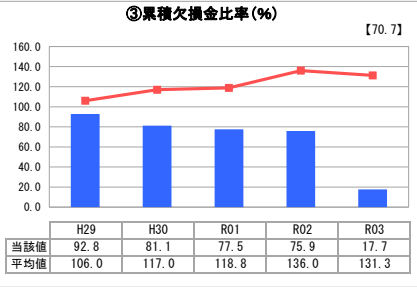
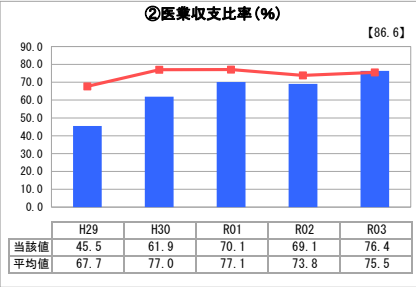
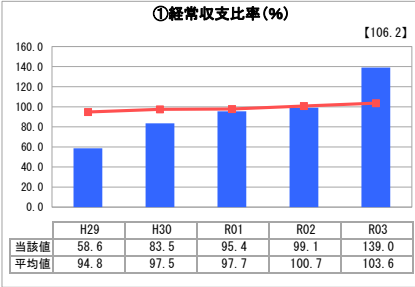
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

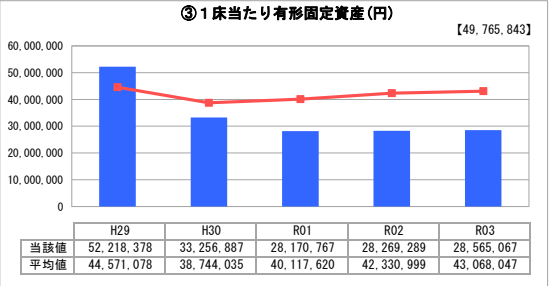
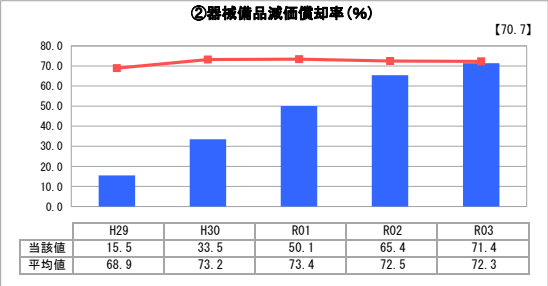
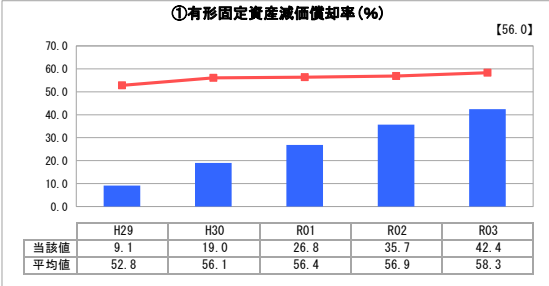
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
45	45	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	90
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
45	26	71

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	-
-	年度	-

I 地域において担っている役割

療養への対応、在宅への連携を見据えた高齢者医療、身近な外来機能

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

南和保健医療圏内の公立3病院の病院機能を再編し、医療圏内における地域医療センター（回復期・慢性期）として平成29年度から一般病棟のみで運用を開始し、平成30年度からは療養病棟の運用も開始した。

新型コロナウイルス感染症対応のため、奈良県総合医療センターと回復期患者の連携を強化したこと等により、経常収支比率は大幅に改善した。また、医業収支比も改善傾向にあり、ともに類似病院平均値を上回った。引き続き、今後も収益向上、費用の適正化等に向けた取り組みを進めていく。

2. 老朽化の状況について

医療圏内の公立3病院の再編により、旧県立五條病院の建物をリニューアルしたこともあり、平成29年度の1床当たり有形固定資産は類似病院平均値より高くなっているが、平成30年度より療養病棟を運用したため、類似病院平均値より低くなっている。

初期投資が賄えるよう収入の確保、費用の適正化に向けたコスト管理などの取り組みを進めていく。

全体総括

南和保健医療圏内の公立3病院を1つの救急病院（急性期）と2つの地域医療センター（回復期・慢性期）に再編した。

今後は、経常収支比率及び医業収支比率の向上に向け、公立病院改革プラン（南和広域医療企業団中期計画）に基づき、休床中の療養病床（19床）の段階的運用、奈良県総合医療センターや地域の医療機関との連携強化等、入院・外来患者の増加等に積極的に取り組んでいく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。